

▼表3-4-2-3 要監視項目及び指針値

【環境対策課】

項 目	指 針 値	項 目	指 針 値
クロロホルム	0.06 mg/L以下	フェノバルブ(BPMC)(注2)	0.03 mg/L以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	イプロベンホス(IBP)	0.008 mg/L以下
1,2-ジクロロプロパン	0.06 mg/L以下	クロルニトロフェン(CNP)(注1)	—
p-ジクロロベンゼン(注4)	0.2 mg/L以下	トルエン	0.6 mg/L以下
イソキサチオン	0.008 mg/L以下	キシレン	0.4 mg/L以下
ダイアジノン	0.005 mg/L以下	フタル酸ジエチルヘキシル	0.06 mg/L以下
フェニトロチオン(MEP)	0.003 mg/L以下	ニッケル (注3)	—
イソプロチオラン	0.04 mg/L以下	塩化ビニルモノマー	0.002 mg/L以下
オキシ銅(有機銅)	0.04 mg/L以下	ウラン	0.002 mg/L以下
クロロタロニル(TPN)(注2)	0.05 mg/L以下	モリブデン	0.07 mg/L以下
プロピザミド	0.008 mg/L以下	アンチモン (注4)	0.02 mg/L以下
EPN	0.006 mg/L以下	エピクロロヒドリン	0.0004mg/L以下
ジクロロボス(DDVP)(注2)	0.008 mg/L以下	全マンガン	0.2 mg/L以下

(注1)クロルニトロフェン(CNP)については、一日許容摂取量に基づいて0.005mg/L以下と設定されていたが、その後、胆のうがん発生の因果関係の有無が明らかとなるまでの間は、一日許容摂取量を設定しないこととされたので、同期間中は指針値は設定しないこととされた。

(注2)クロロタロニル、ジクロロボス、フェノバルブについては、平成5年の指針値策定以降の知見を踏まえ指針値が変更された。(平成11年2月)

(注3)ニッケルについては、毒性評価が不確定であることから指針値が削除された。(平成11年2月)

(注4)p-ジクロロベンゼン及びアンチモンについては、新たな知見を踏まえ指針値が変更された。(平成16年3月)